

## 活動報告書

<b>1 団体名</b> 温泉インカレ
<b>2 活動内容</b> 別府の共同温泉を学生にとってより身近なものにするために別府市で生活をする大学生に向けた市民活動 ・共同温泉に関する口コミを確認できる温泉アプリ（もしくはSNS・サイト） ・共同温泉の掃除体験・番台体験で一番風呂体験 ・温泉や大学内に温泉レコメンドボードもしくはノートの設置
<b>3 活動期間</b> 令和5年 7月 6日から 令和6年 3月 31日まで
<b>4 活動実施内容</b> ・共同温泉に関する口コミを確認できる温泉アプリ（もしくはSNS・サイト） 公式Instagramを開設し、インカレの運営メンバーによるおすすめ温泉を毎月26日（ふろのひ）に投稿した。 ・共同温泉の掃除体験・番台体験で一番風呂体験 鉄輪地域にあるすじ湯温泉をお借りし、温泉掃除体験を2度開催した。 温泉インカレとともに、別府大学の温泉愛好会のメンバーにも協力をお願いしともにイベントを開催した。 ・温泉や大学内に温泉レコメンドボードもしくはノートの設置 別府大学の学祭にて、別府大学温泉愛好会の協力のもと1つの教室をお借りし、おすすめ温泉を書いてもらうコーナーや、適正泉質診断ができるコーナー、団体概要が分かる展示を行った。 立命館アジア太平洋大学にて、自主活動ProjectA団体として大学任意団体の申請をし、12月18日～22日の5日間カフェテリアにブースを設置。学生におすすめ温泉を自由に記入してもらった。
<b>5 活動の成果</b> ・共同温泉に関する口コミを確認できる温泉アプリ（もしくはSNS・サイト） 令和5年9月26日より投稿を開始し、令和6年4月10日現在フォロワー197人となり、支援金二次審査の際に提示した”共同温泉に関心を持つ学生を100人増やす！”という目標に近づく形になった。 ・共同温泉の掃除体験・番台体験で一番風呂体験 参加者のほとんどが温泉の掃除をすることが初めてであり、日々欠かさず清掃がなされていることへの大変さや、温泉に関する話を交え学びの多い時間になった。 ・温泉や大学内に温泉レコメンドボードもしくはノートの設置 別府大学での学祭展示では、144名が来場した。大分合同新聞社さまにも取材していただき、活動の周知を支援していただいた。APUでのブースでは、約54カ所のおすすめ温泉が集まった。大学オフィスにも活動後報告書を提出し、プロジェクトA活動としてスチューデントオフィス公式InstagramやAPUサイトにも掲載いただいた。
<b>6 反省点や今後の目標</b> 想定以上に支援金を使うことなく、活動を進めることができた。学生がイベントに参加しやすいタイミングをより的確に設定し前もって準備を進めることができているならば、より多くのイベントをできたと思う。令和6年度の活動では、温泉に関わる他団体との連携や、大学サークルとの連携を取り、共同温泉内でできる活動を増やしたい。